

**講座  
7**

**戦後「大衆文学」の可能性 ～松本清張と司馬遼太郎**

【定員】 72名 【受講料】 2年会員13,380円 1年会員15,060円 聴講生20,080円

『歴史・文学・人間学』文学 【時間】 毎回 10時30分～ 12時00分 (計12回)

概要 戦後の日本で多くの読者に親しまれた推理小説の「清張世界」と歴史小説の「司馬世界」の魅力の秘密を解き明かす

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/ 2(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	松本清張 「張込み」「顔」	東京大学名誉教授 小森 陽一
2	10/ 9(水)		松本清張 「声」	
3	10/23(水)		松本清張 「地方紙を買う女」「一年半待て」	
4	10/30(水)		松本清張 「鬼畜」	
5	11/ 6(水)		松本清張 「投影」	
6	11/13(水)		松本清張 「カルネアデスの舟板」	
7	11/27(水)		司馬遼太郎 「竜馬と酒と黒潮と」「会津人の維新の傷あと」	
8	12/ 4(水)		司馬遼太郎 「近江商人を創った血の秘密」「体制の中の反骨精神」	
9	12/11(水)		司馬遼太郎 「加賀百万石の長いねむり」「”好いても惚れぬ”権力の貸座敷」	
10	1/ 8(水)		司馬遼太郎 「独立国薩摩の外交感覚」「桃太郎の末裔たちの国」	
11	1/22(水)		司馬遼太郎 「郷土闘を作らぬ南部気質」「忘れられた徳川家のふるさと」	
12	1/29(水)		司馬遼太郎 「維新の起爆力・長州の遺恨」「政権を亡ぼす宿命の都」	

連絡事項 テキストは松本清張『傑作短編集(五) 張込み』(新潮文庫)、司馬遼太郎『歴史を紀行する(新装版)』(文春文庫)を使用します。各回の作品を事前に読んでご参加いただければより深くご理解いただけます。